取扱説明書

ご使用の前に
よくお読みください。

Odyssey

助手席リフトアップシート車

このたびはHonda車をお買い上げいただき、
ありがとうございます。
この取扱説明書は、Odyssey 助手席リフトアップシート車に
装備された機構の取り扱いについてのみ説明してあります。
その他の内容については Odyssey 取扱説明書をご覧ください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠警告
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠注意
指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス
お車のために守っていただきたいこと
（車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、
異常事態の処置方法を記載しています）

知 識
知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

もくじ

各部の名称…… 3

安全ドライブのための必読ポイント…… 4

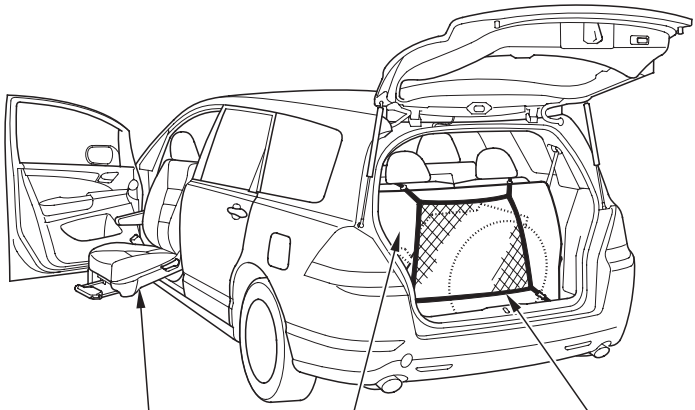
装備の使いかた
回転昇降シートの調節…… 6
フラットシート
（フロント・セカンドシート）…… 7
回転昇降シートの操作…… 8
フットプレート……13
サードシート……14
車いすの収納のしかた……15

点検整備について
点検整備方式……18
日常点検……19

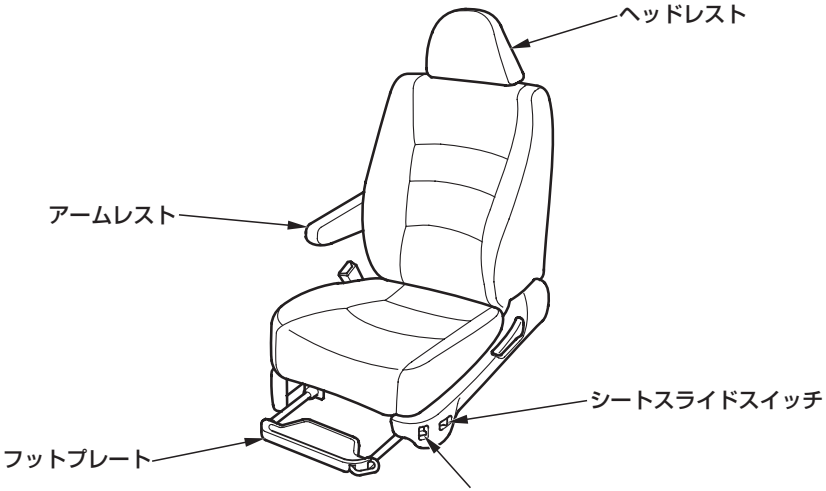
万一のとき
工具の種類……20
タイヤの交換……21
バッテリーやヒューズを外したとき……22
シートが回転、昇降できないとき……24

サービスデータ
サービスデータ……34
収納可能な車いすのサイズ……35

各部の名称



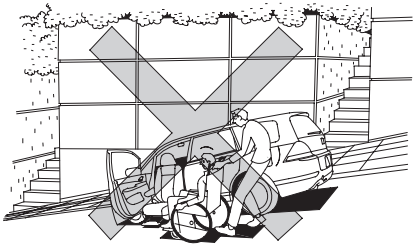
回転昇降シート



安全ドライブのための必読ポイント

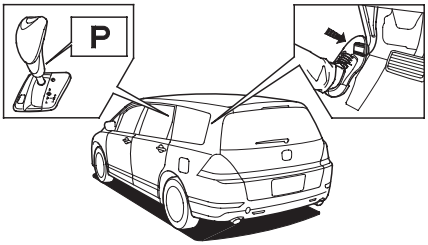
坂道での回転、昇降操作はしない。

- 回転、昇降操作は必ず平坦な場所で行ってください。
  坂道では、車や車いすが不安定になり、転倒や落下など思わぬけがをすることがあります。



回転、昇降するときは。

- セレクトレバーがPに入っていないと回転、昇降の操作ができません。パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れて操作してください。

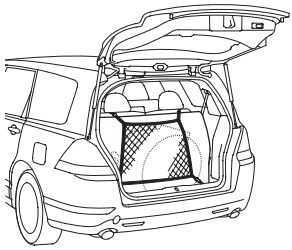


回転、昇降操作は介護する人が行う。

- 回転、昇降操作は、道路状況や回転昇降シートの周辺にも注意し、介護する人が行ってください。
  回転、昇降操作を誤ると思わぬけがをすることがあります。
  ・後ろの席にお子さまを乗せているときは、不意の動作に注意してください。

車いすは確実に固定。

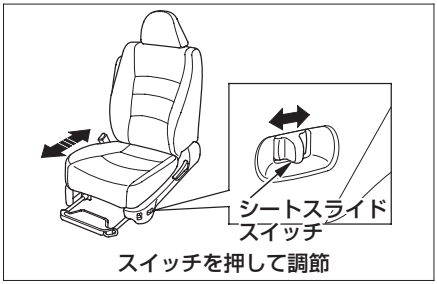
●必ず車いすのブレーキをかけてから、固定用ネットで固定してください。走行中車いすが不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



装備の使いかた

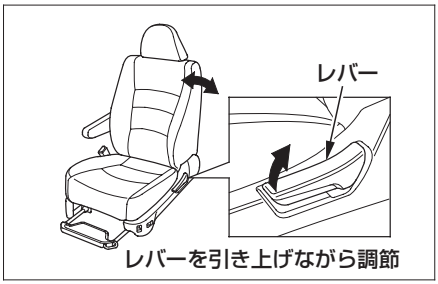
回転昇降シートの調節

●前後位置の調節



スイッチを押して調節

●背もたれの調節



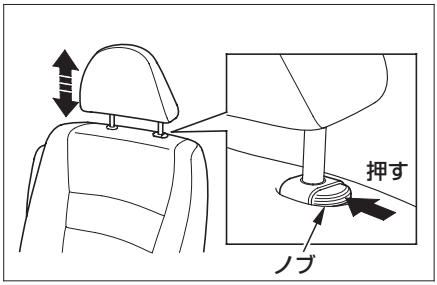
レバーを引き上げながら調節

●ヘッドレストの調節

走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。
背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。

▼

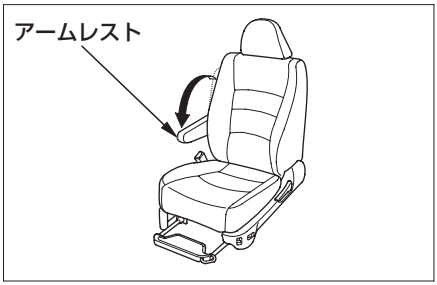
高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。
低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。



⚠警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。
  衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
  走行前に必ず正しい位置に調節してください。

●アームレスト
前に倒して使用します。
回転、昇降操作中は、前に倒しておいてください。



⚠注意

●シートベルト着用時にアームレストに引っかけると、万一のときシートベルトの機能が発揮できないことがあります。
シートベルトは正しく着用してください。

アドバイス

●アームレストに腰をかけたり荷物をのせるなどの大きな力を加えないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

知 識

●回転、昇降中にアームレストを倒しておいても、背もたれの角度によってはアームレストが車体に接触することがありますが異常ではありません。

フラットシート（フロント・セカンドシート）

運転席側のみフロントシートとセカンドシートをフラットにできます。

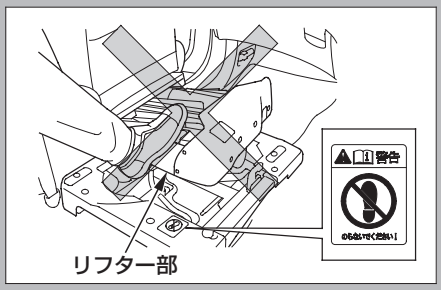
フラットシートの詳細に関してはOdyssey取扱説明書をご覧ください。

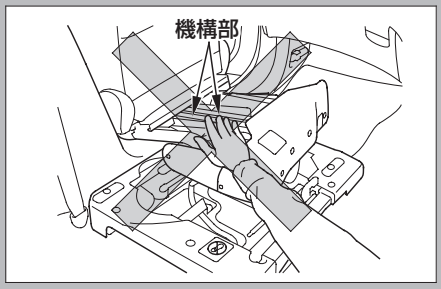
回転昇降シートの操作

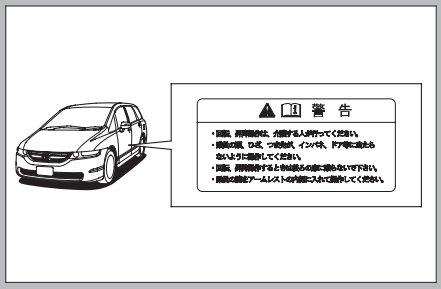
セレクトレバーが回のとき昇降操作できます。

⚠警告

- 回転、昇降操作は介護する人が行ってください。シートに座っている人が操作すると、手や腕などをはさんだりぶつけたりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。また、お子さまには操作させないでください。
- 回転昇降シートを操作するときは、グローブボックスを閉じ、助手席サンバイザーなどを格納してください。また、助手席ドアを全開にして、シートに座っている人の腕をアームレストの内側に入れてから操作してください。回転、昇降中に頭やひざ、つま先などがインストルメントパネルやドアなどにぶつかり、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 回転、昇降時はリフター部に乗ったり、機構部に触ったりしないでください。手や足などをはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 回転、昇降操作をするときは、助手席側のセカンドシートに座らないでください。足をはさまれたり思わぬ事故につながるおそれがあります。







⚠注意

- 回転昇降シートの操作を誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。
  - ・シートの回転、昇降は平坦な場所で、周囲の安全を十分確認してから行ってください。
  - ・パーキングブレーキをかけてください。
  - ・シートを操作する前に、シート下降位置周辺に障害物がないことを確認してください。
- 介護される人が背もたれの角度やシートの前後位置を調節しているときは、ドアを閉めないでください。手をはさんでけがをするおそれがあります。

回転昇降シートには、チャイルドシートを取り付けないでください。このシートでチャイルドシートを使用しないでください。

知 識

- この回転昇降シートの最大回転、昇降能力は、100kgです。これを越えての回転、昇降操作は、破損の原因となります。
- 回転、昇降操作をするときは、助手席側のドアをいっぱいに開けてから行ってください。
- 回転、昇降中にアームレストを倒しておいても、背もたれの角度によってはアームレストが車体に接触することがありますが異常ではありません。

●シートの降ろしかた

①フロントシートのセンターテーブルを格納します。

センターテーブル

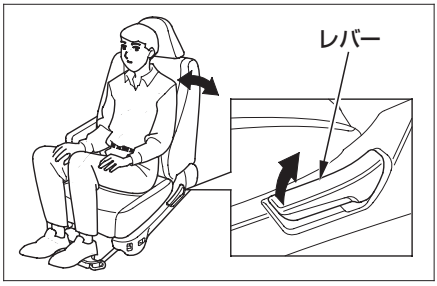
→Odyssey取扱説明書

②シートベルトが外してあることを確認します。

③シートの回転時や昇降時に座っている人の頭や背もたれが車体にあたらないようにレバーを引き上げながら背もたれの角度を調節します。

知 識

- 背もたれが倒れすぎていると、運転席と干渉してシートの回転ができなくなります。



④アームレストを前に倒します。このとき座っている人の体がアームレストの内側にあることを確認してください。
⑤フットプレートを前に引き出して足を乗せます。

フットプレート　→13ページ

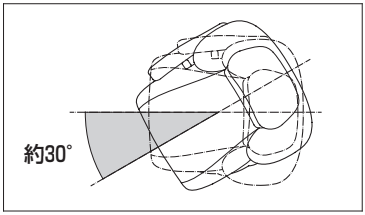
⑥回転昇降スイッチを下に押し続けると“ピッ”とブザーが鳴り、シートが前方へスライドしながら回転します。回転が終了すると続けて下降します。
また、途中でスイッチから手を離せばその場で停止させることができます。

⚠注意

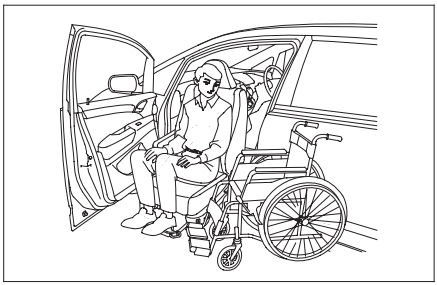
- シートを回転、昇降するときは、シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。

知 識

- シートを前方へスライドさせているときに回転昇降スイッチを押すと、いったん最後端までスライドしてから回転、下降を開始します。
- シートが回転を開始した直後から約30°までの位置で、回転昇降スイッチから手を離すと“ピピピッ”とブザーが鳴り続けます。

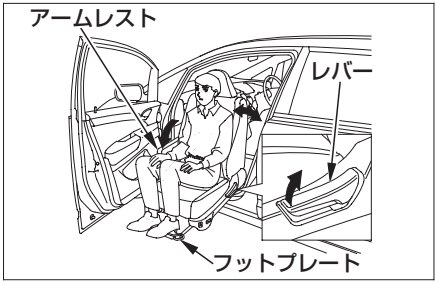


⑦車いすなどに乗り換えます。



●シートの上げかた

①フットプレートを前に引き出し、シートの回転時や昇降時に座っている人の頭や背もたれなどが車体にあたらないように背もたれの角度を調節します。車いすなどから乗り換え、アームレストを前に倒します。このときシートに座っている人の体がアームレストの内側にあることを確認してください。



②回転昇降スイッチを上に押し続けると“ピッ”とブザーが鳴り、シートが上昇します。

上昇が終了すると続けて回転しながら走行位置(格納位置)までスライドします。スライドが終了して完全に停止すると“ピピッ”とブザーが鳴ります。

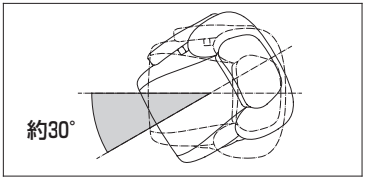
また、途中でスイッチから手を離せば、その場で停止させることができます。

⚠注意

- シートを回転、昇降するときは、シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。
- シートが走行位置(格納位置)に戻らないときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

知 識

- シートが回転を開始してから(約30°)走行位置(格納位置)に戻る直前までの位置で、回転昇降スイッチから手を離すと“ピピピッ”とブザーが鳴り続けます。

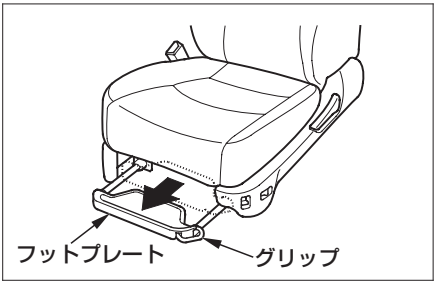


- シートが走行位置(格納位置)に戻っていないときは、セレクトレバーを操作することができません。
- 故障などにより、シートが走行位置(格納位置)に戻っていないときは、セレクトレバーを操作することができません。シフトロックを解除してください。

→Odyssey取扱説明書

フットプレート

グリップを持って、前に引き出して使用します。
回転、昇降操作中は、介護される人の足を乗せておいてください。
走行中は、フットプレートを必ず収納してください。
体重がかかりすぎて破損するおそれがあります。



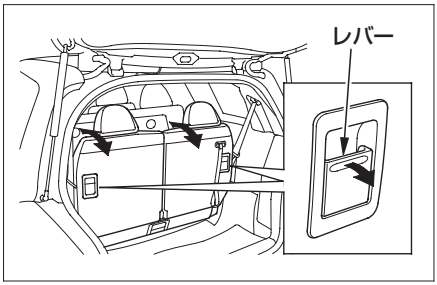
アドバイス

- フットプレートに体重をかけたり、ステップの代わりにしないでください。フットプレートが破損するおそれがあります。

サードシート

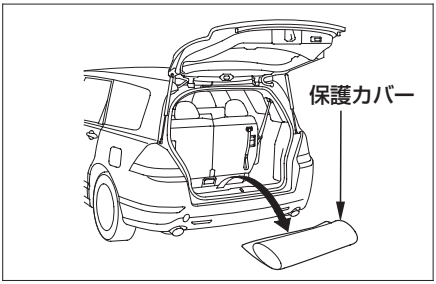
●背もたれの調節

レバーを引きながら調節します。



●格納のしかた

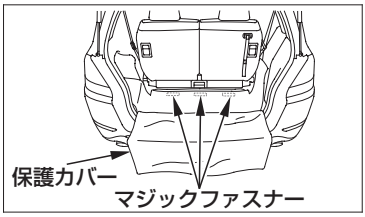
サードシートの格納は、保護カバーを取り外してから行ってください。



サードシートの格納の詳細に関してはOdyssey取扱説明書をご覧ください。

知 識

- 保護カバーはマジックファスナーでカーゴスペースのフロアに固定されています。



車いすの収納のしかた

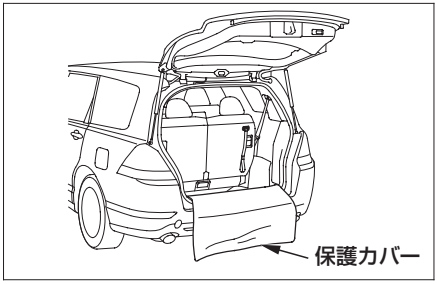
●車いすを収納するとき

①テールゲートを開けます。

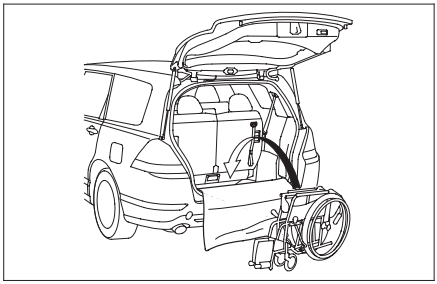
②サードシートの背もたれを一番起こした位置に調節します。

サードシート　→14ページ

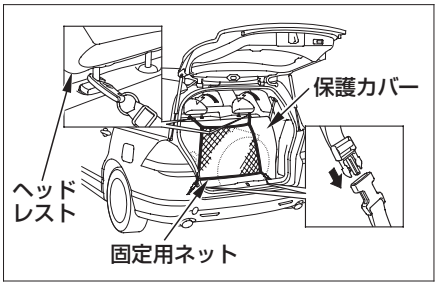
③保護カバーを引き出し、バンパーにかぶせます。



④車いすを折りたたみ、車いすを横向きにのせます。このとき車いすのブレーキをかけてください。

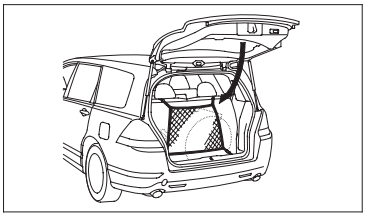


⑤ヘッドレストを前方に倒して保護カバーを車いすにあてながら、固定用ネットで車いすを固定します。固定したらヘッドレストを元に戻します。



知 識

- 車いすがぐらついたり、固定用ネットがきついときは、固定用ネットのベルトの長さを調節してください。
- 車いすを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- テールゲートを閉めるとき、車いすにテールゲートが接触しないように注意してください。
  車いすがテールゲートと背もたれにはさみ込まれると変形する可能性があります。



●車いすを車から取り出すとき

収納するときとは逆の手順で行います。

点検整備について

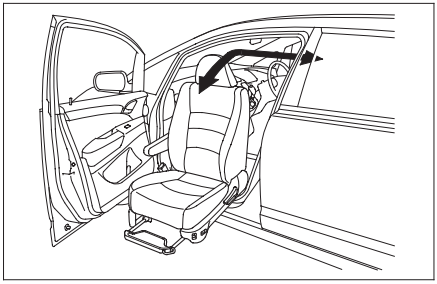
点検整備方式

点検整備項目		点検時期			交換時期（年）	備考
		日常点検	12か月ごと	24か月ごと		
回転昇降シート部	回転、昇降スピード、異音	○				
	各取付部の緩み、がた、損傷		○	○		
	ブザーの作動	○				

日常点検

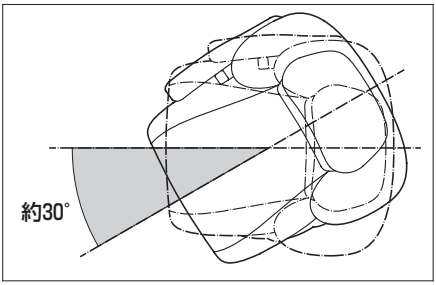
日常の回転昇降シートの使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検です。

●回転、昇降スピード・異音の点検
シートを回転、昇降させ、スピードが著しく遅くないか、異音がないかを点検します。



●ブザーの作動の点検
回転昇降スイッチを操作して、下記のようにブザーが鳴ることを点検します。

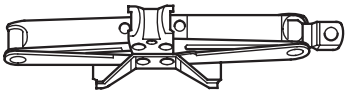
①回転昇降スイッチを押して、シートが作動を始めるときに“ピッ”とブザーが鳴ること。
②シートが回転を開始した直後から約30°までの位置で、回転昇降スイッチから手を離すと“ピピピッ”とブザーが鳴り続けること。



③回転昇降スイッチを上に押して、シートが走行位置(格納位置)まで戻ったときに“ピピッ”とブザーが鳴ること。

万一のとき

工具の種類



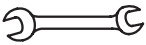
ジャッキ

ジャッキハンドルバー

サンルーフレンチ
サンルーフ装備車

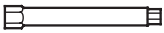
アイボルト

プラスドライバー

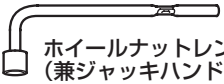


スパナ

マイナスドライバー



ボックスレンチ



ホイールナットレンチ
（兼ジャッキハンドル）

グリップ

知 識

- 工具の種類、ジャッキの使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

タイヤの交換

知 識

- タイヤ交換をしたあとに、標準タイヤを収納するとカーゴフロア（車いす収納部床）の位置が高くなります。そのため、収納していた車いすでも、テールゲートを閉めたときに、サードシートの背もたれとテールゲートにはさまれ、変形することがあります。
  そのときは、サードシートの背もたれを倒すなど、カーゴスペースを広くして車いすを収納してください。

→Odyssey取扱説明書

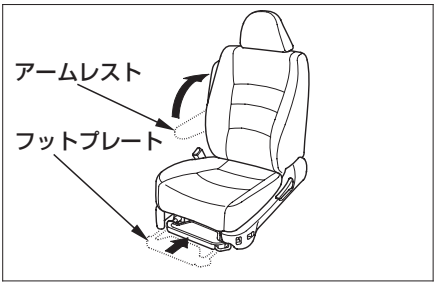
バッテリーやヒューズを外したとき

知 識

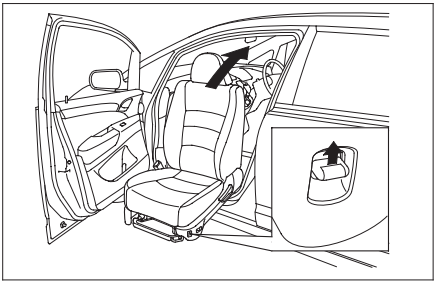
- バッテリー交換は、シートを走行位置(格納位置)にした状態で行なってください。

シートが走行位置(格納位置)以外で、バッテリーやヒューズを外して再接続したときは、ブザーが鳴り続けて通常の昇降操作ができなくなりますので、以下の手順で復帰操作を行ってください。
走行位置(格納位置)に戻すと、ブザーが止まり通常の昇降操作ができるようになります。

①アームレストを元に戻し、フットプレートを収納します。



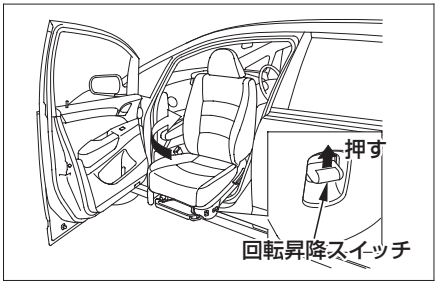
②回転昇降スイッチを上に押し続けて、シートを一番上まで上昇させます。



③シートが車体に接触しないように前後左右や下部をよく確認しながら、回転とスライドの操作を交互に繰り返してシートを完全に走行位置(格納位置)に戻します。
走行位置(格納位置)に戻すと、ブザーが止まります。

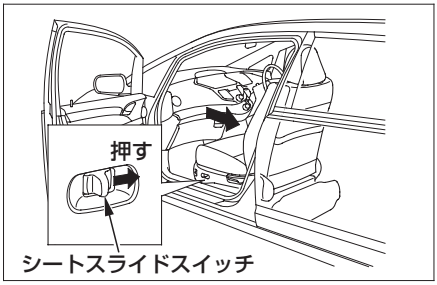
回転の操作

回転昇降スイッチを上に押してシートを車内側へ回転させます。



スライドの操作

シートスライドスイッチを後側に押してシートを後方へスライドさせます。



知 識

- 復帰操作を行った後は、回転昇降スイッチを操作して、シートが正常に作動することを確認してください。

⚠注意

- 復帰操作をするときは、回転昇降シートに座らないでください。
  シートが正規の軌道を通らないため、手や足などをはさむおそれがあります。
- バッテリーやヒューズを外して再接続したときは、復帰操作を行うまで回転昇降シートを使用しないでください。
  そのままで使用すると、シートが正常に作動しなかったり、シートをスライドさせたときに、シートが極端に前方までスライドし、足がシートとインストルメントパネルの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。

シートが回転、昇降できないとき

シートが回転、昇降できないときは、車のバッテリーを点検してください。
バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れやブレーカーの作動が考えられます。

シートが昇降できないとき

ブレーカーのスイッチをドライバーで押して復帰操作をします。
それでも作動しないときは、以下の手順で点検を行ってください。

①エンジンルーム内のヒューズボックスから回転昇降シートのヒューズを外します。

→25ページ

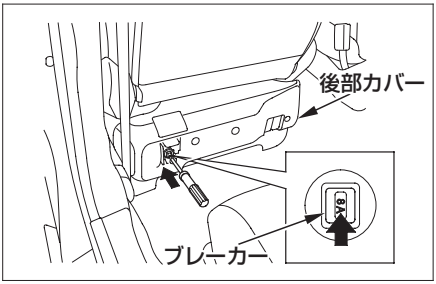
②ヒューズが切れていないかを点検し必要に応じて、ヒューズを交換します。

知 識

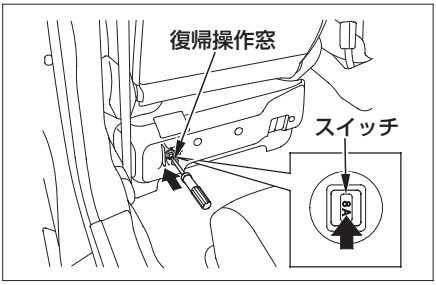
- 昇降用モーターには、保護機能としてブレーカーを装備しています。モーターの負荷が大きい状態が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、モーターが止まることがあります。復帰操作を行うと使用できるようになります。

回転昇降シートのブレーカーの位置

ブレーカーは回転昇降シート後部カバー左側の内部にあります。



シートが昇降できないときは、ブレーカーの復帰操作をします。復帰操作窓にドライバーを差し込み、ブレーカーのスイッチを最後まで押し込みます。

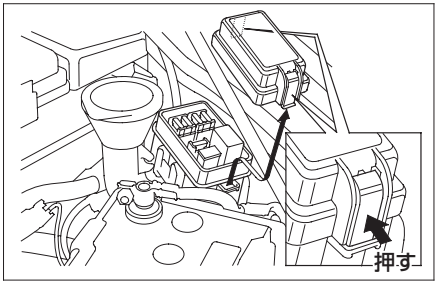


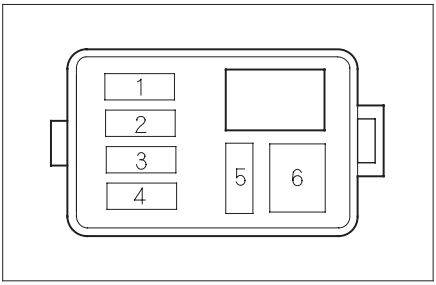
ブレーカーの復帰操作をしてもシートが昇降できないときは、ヒューズ切れが考えられますので、ヒューズの点検を行ってください。

●ヒューズの点検、交換

エンジンルーム内のヒューズボックスの位置

ヒューズボックスはバッテリーの横にあります。





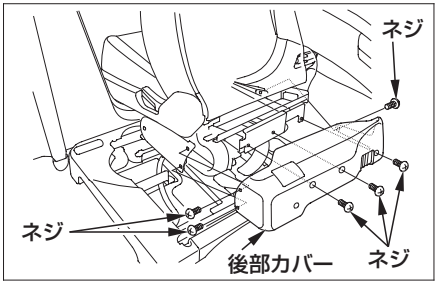
・ヒューズの装備と容量

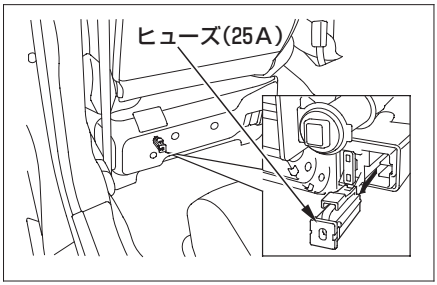
	表示	装備	容量
1		回転昇降シート	30A

室内の回転昇降シートのヒューズの位置

ヒューズは後部カバー左側の内部にあります。

①プラスドライバーでネジ(６本)を外して後部カバーを外します。



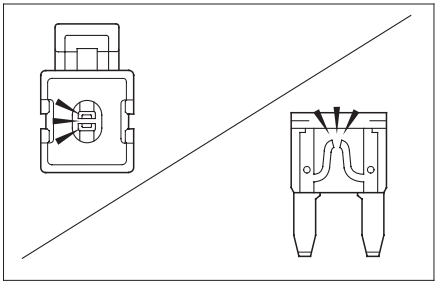


ヒューズ規定容量：25 A

②ヒューズが切れていないかを点検します。

③必要に応じてヒューズを交換します。

ヒューズが切れているとき



表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

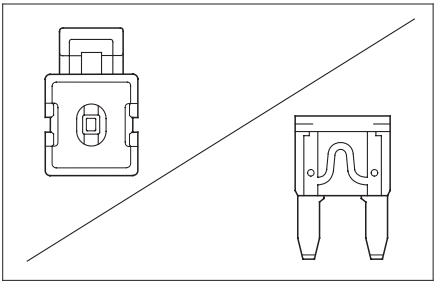
アドバイス

- 規定容量のヒューズ以外の物は絶対に使わないでください。
  配線コードなどを焼損させる原因となります。

知 識

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

ヒューズが切れていないとき



ブレーカーの復帰操作をしても、シートが昇降できないときや、ヒューズが切れていないのにシートが回転できないときは、装置の故障が考えられます。Honda販売店へご連絡ください。

→28ページ

●手動格納のしかた

装置が故障した場合は、Honda販売店へご連絡ください。もし、連絡ができない場合は、次の方法で回転昇降シートを手動で格納してください。
手動格納するにはシートを上げる作業と回転させる作業を別々に行います。

⚠注意

- 手動格納の作業を行うときはシートの可動部分に手をはさまないように十分注意してください。

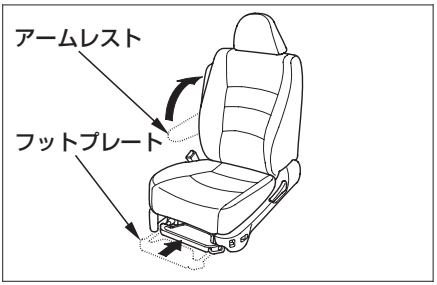
シートを手動で上げるとき

シートが昇降している途中で動かなくなったときは、最初にシートを上げる操作をします。

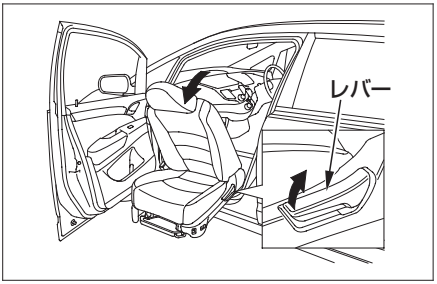
①エンジンルーム内のヒューズを外します。

→25ページ

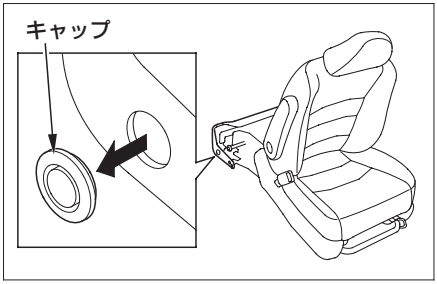
②アームレストを元に戻し、フットプレートを収納します。



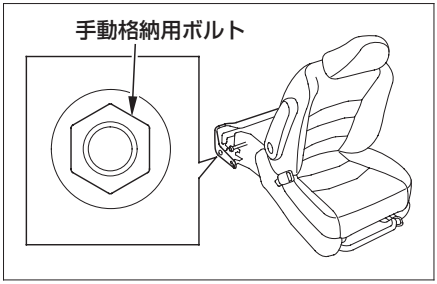
③レバーを引き上げながら、背もたれを前方いっぱいに倒します。



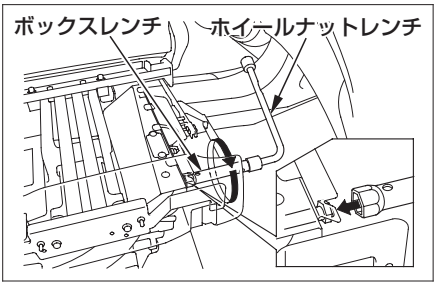
④回転昇降シートの右側にあるキャップを外します。



⑤回転昇降シート右側にある手動格納用ボルトの位置を確認します。



⑥ボックスレンチにホイールナットレンチを差し込み、手動格納用ボルトを矢印の方向へ回して、回転昇降シートを一番上(停止する位置)まで動かします。



⚠注意

- ボックスレンチで手動格納用ボルトを回すときは、レンチがボルトから外れたり、手をはさまないように十分注意してください。

知 識

- ボックスレンチはゆっくり回してください。

⑦回転昇降シートが確実に上がったことを確認してから、エンジンルーム内のヒューズを取り付けます。
⑧シートが車体に接触しないように前後左右や下部をよく確認しながら、回転とスライドの操作を交互に繰り返してシートを完全に走行位置(格納位置)に戻します。

回転の操作、昇降の操作　→23ページ

知 識

- シートが確実に上がっていないとスイッチを上に押しても格納されません。
- シートが確実に上がっている状態で、スイッチを上に押しても格納されない場合には、手動で回転させてください。

→31ページ

⑨なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

⚠注意

- 回転昇降シートを手動格納したときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

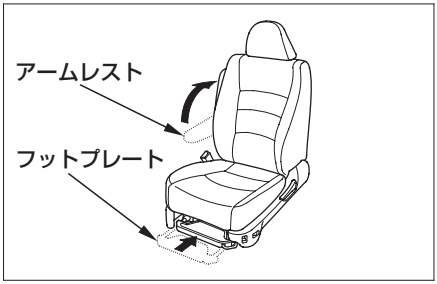
シートを手動で回転させるとき

シートが回転している途中で動かなくなったときは、シートを回転させる操作をします。

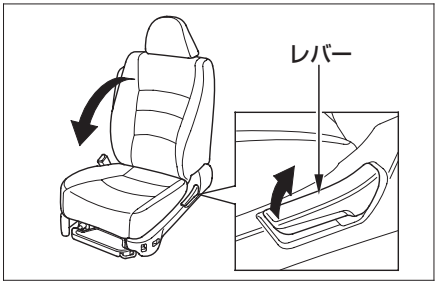
①エンジンルーム内のヒューズを外します。

→25ページ

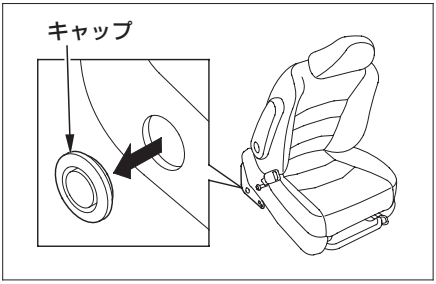
②アームレストを元に戻し、フットプレートを収納します。



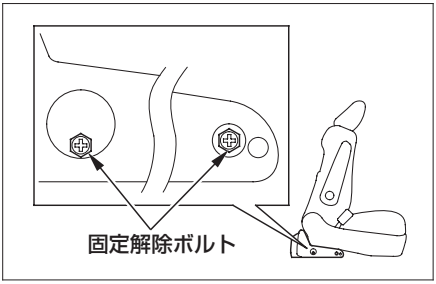
③レバーを引き上げながら、背もたれを前方いっぱいに倒します。



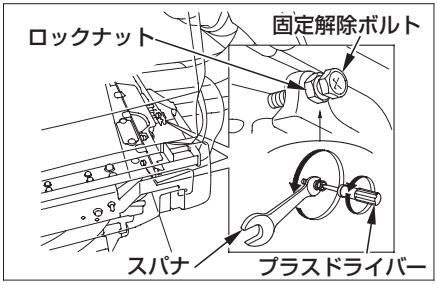
④回転昇降シートの右側にあるキャップを外します。



⑤モーター部を固定している固定解除ボルト(２カ所)の位置を確認します。



⑥スパナでロックナットを矢印の方向へ回してゆるめます。
⑦回転昇降シート右側のカバーの穴からプラスドライバーを差し込み、固定解除ボルトを矢印の方向へ回して取り外します。



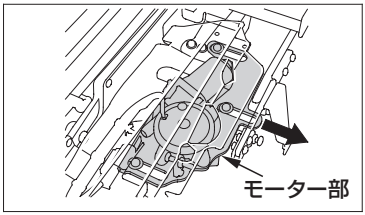
⚠注意

- 固定解除ボルトを回しているときにシートを押すと、シートが回転し手などをはさむおそれがありますので十分注意してください。
- スパナとプラスドライバーでロックナットと固定解除ボルトを回すときは、スパナやプラスドライバーがナット、ボルトから外れたり、手をはさんだりしないように十分注意してください。

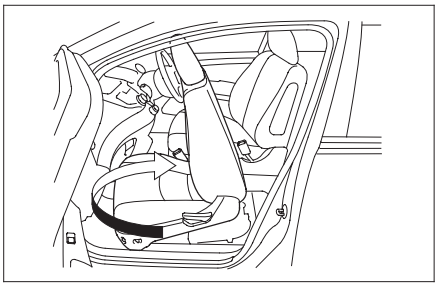
⑧回転昇降シートを回転方向へゆすり、手動で回転できるようにします。

知 識

- シートを回転方向にゆすると、モーター部がずれて、駆動部のかみ合いが外れ、手動で回転できます。



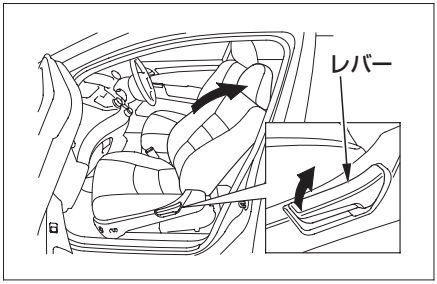
⑨回転昇降シートを格納方向へ止まるまで回転させます。



知 識

- 手動で回転させると、走行位置（格納位置）まで戻りません。

⑩レバーを引いてシートの背もたれを起こします。



⑪なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

⚠注意

- 回転昇降シートを手動格納したときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

知 識

- 回転昇降シートを手動で回転し格納したときは、セレクトレバーをPの位置から他の位置に切り換えられません。シフトロックの解除をしてください。

→Odyssey取扱説明書

- 回転昇降シートを手動で回転し格納した後に、ブザーが鳴った場合は、助手席側ドアを閉めると止まります。

サービスデータ

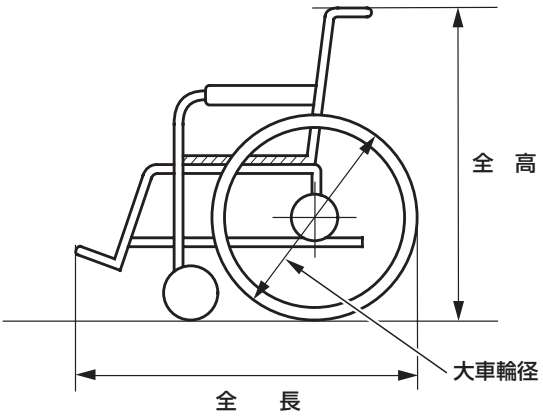
サービスデータ

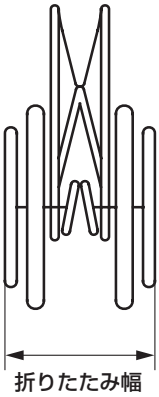
項　　目	サ ー ビ ス デ ー タ
最 大 昇 降 能 力 （kg）	100

収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすのサイズは下表のようになっていますので、車いすを購入されるときに、あらかじめ確認してください。なお、下記条件を満たしている場合でも形状によっては搭載のできない車いすがあります。

項目 ＼ タイプ	自走式、介護式
大車輪径（インチ）	24以下
全高（mm）	950以下
全長（mm）	1150以下
折りたたみ幅（mm）	330以下





HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

30SFET01
00X30-SFE-T010

©2007本田技研工業株式会社